

現代GP

古都奈良における

生活観光

ナラブ

Vol. 1

平成19年10月25日

平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)に
「古都奈良における生活観光—地域資源を活用した全学的教育プログラム—」
が選定されました!

●生活観光とは?

近年、芸術文化を鑑賞し、歴史を学び、環境保全に関わるなど、多様な体験としての観光のあり方が注目されてきています。奈良にこれを当てはめてみた場合、1) 地域の資源として発掘されていない歴史遺産や祭り、芸能、特産物などがあり、2) 歴史的景観や奈良公園のような市街地と自然の共生があり、さらに、3) 旧市街地には歴史的景観とともにそこでの暮らしが残っています。これらは、まさに新しい観光の資源となりえます。それらを発掘・再評価し、その発展のための課題を明らかにすることが、地域づくりにつながっていきます。

このような地域の生活環境の再評価と観光による地域の活性化を、ここでは生活観光と呼んでいます。



発行元

奈良女子大学社会連携センター
生活観光現代GP推進室

Email: gp-gendai@cc.nara-wu.ac.jp

http://www.nara-wu.ac.jp/gp2007

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

■現代GPとは…

文部科学省では、各大学・短期大学・高等専門学校等が実施する教育改革の取組の中から、優れた取組を選び、教育改革に取組むことを促進し、大学教育改革をすすめています。この「優れた取組」を「Good Practice」と呼んでいます。これは、近年、国際機関の報告書などで「優れた取組」という意味で幅広く使われており、諸外国の大学教育改革でも注目されている言葉です。この言葉を略して「GP」と呼んでいます。

文部科学省では、これらのサポートのためのプログラムとして「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)と「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)を実施しています。

本学は、古都奈良における生活観光—地域資源を活用した全学的教育プログラムを計画し、平成19年度現代GP「地域活性化への貢献(地元型)」のテーマに申請し、このたび選定されました。

このプログラムは、本学が立地する古都奈良をフィールドに、奈良市および地域の人びとや諸団体と一緒に生活観光という考え方を通して、地域資源を発掘・再評価・発信するプロセスを実践的に学ぶ取組です。

本学全学部である文学部・理学部・生活環境学部が個別に行ってきた奈良に関する教育・研究を、社会連携センターのもとに体系化・総合化してプログラムを推進していきます。

内容については、地域資源を発掘・再評価することを学ぶ3つのテーマと、そこで得られた情報を発信し、新しい観光のあり方を考えていく1つのテーマから構成されています。また、4つのテーマに共通する取組として、昨年より行われている「はじまりは正倉院展」に主体的に参加し、成果を来訪者に発信し評価を受けます。計画立案から評価・次年度にむけた教育改善にいたる1年間の教育スケジュールを組んでいくこともこのプログラムの特徴です。こうした取組から地域活性化に貢献できる人材を養成していきます。

■これからの活動に向けて

生活観光現代GP代表 生活環境学部教授 増井正哉

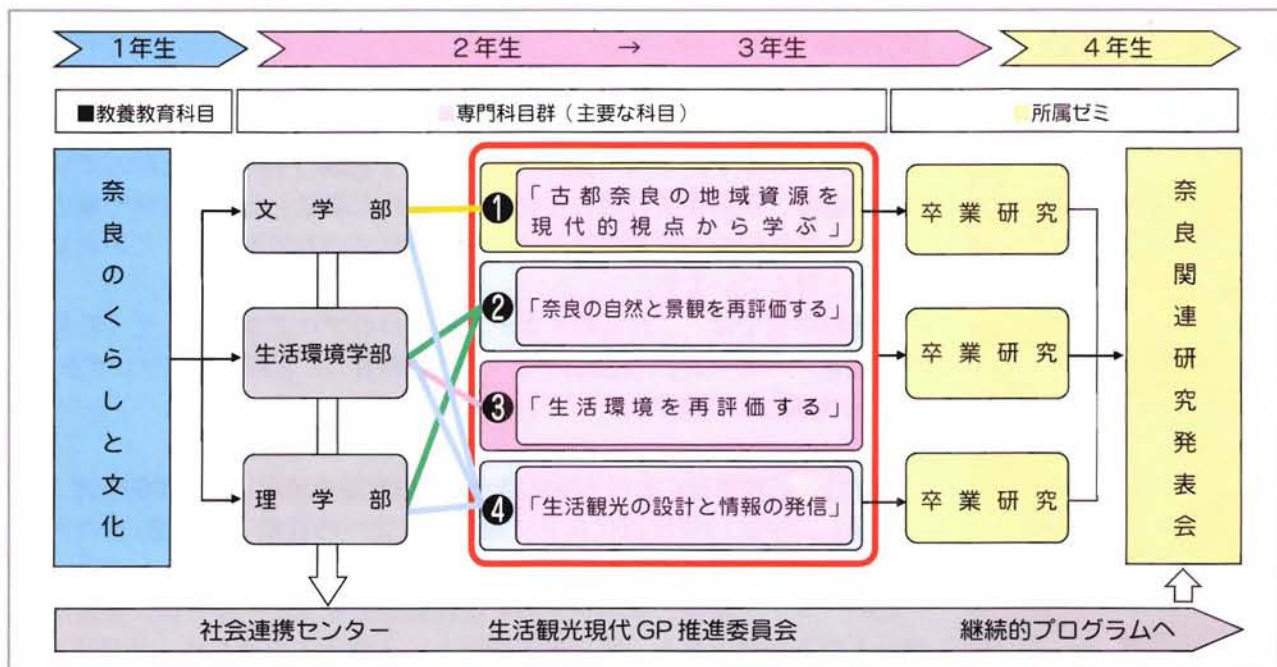
これまで進めてきた現代GPの活動の中で、地域で活躍しておられる様々な方々との繋がりができてきました。新しい生活観光現代GPは、その繋がりをベースに進めていきたいと考えています。そして、大きな特徴は、3つの学部の教員、学生の皆さんと、一緒に作り上げていくプログラムということです。全学部でひとつの教育テーマに取り組むのは、大学としてもおそらく初めての試みでしょう。試行錯誤の繰り返しになるかと思えます。教員、学生、そして地域の皆さんで、一緒に良い教育プログラムへと仕上げていきたいと思っております。ご協力をよろしく申し上げます。

●教育課程：本学における位置づけ

本学の教育は、教養教育、専門教育から成り立っています。両者はお互いに関連しつつ、最終的には卒業研究へと向かっていきます。また、本学では毎年多数の学生が卒業研究に取り組みますが、奈良を対象としたテーマが多いという特徴があります。そこでこのプログラムを、広く浅く学ぶ教養科目と、深く専門的に学ぶ卒業研究の間を埋める中間的な教育プログラムとして位置づけます（下図）。奈良に興味のある学生が教養教育を受けた後、学生の関心に従って奈良について実践的に学び続け、より専門的な卒業研究へスムーズに進めるようにします。

このプログラムは以下4つのテーマで構成されています。

- (1) 「古都奈良の地域資源を現代的視点から学ぶ」
- (2) 「奈良の自然と景観を再評価する」
- (3) 「生活環境を再評価する」
- (4) 「生活観光の設計と情報の発信」



●平成 17 年度採択現代 GP

「地域の変革を促す女性人材育成プログラム」との関連

今回のプログラムは、地域と連携した教育改革を進める点、大学周辺の地域活性化に貢献しようとする点で、H17年度生活環境学部で採択された現代GPの主旨と共通します。実際に、H17年度現代GPで連携をしている地域の関係諸団体のいくつかも共通しています。しかし、H17年度現代GPが、生活環境学部単独の教育プログラムである点、地域における女性の能力を高めようとする点が、このプログラムと異なる点です。

もちろん、H17年度現代GPの取組で掲げる6つのテーマのうち、「歴史的な生活・町家から学ぶ」、「住宅地の居住環境整備」、「安全・安心のまちづくり」は、このプログラムのテーマのひとつ「生活環境を再評価する」と重なりあうもので、相互に補完しあいながら、プログラムを推進していきます。

「はじまりは正倉院展」との関わり

平成 18 年度から奈良市中心 8 商店街や奈良市、まちづくり団体など計 12 団体が実行委員会を組織し、正倉院展期間中のイベントとして、スタンプラリー「はじまりは正倉院展」が実施されています。本学もこれまで H17 年度現代 GP となら学プロジェクトを中心に実行委員会に参加し、記念館、奈良町セミナーハウスを一般公開しスタンプを設置するほか、記念館での連続公開講座なども実施してきました。さらに、今年は「まちかど正倉院」にも参加し、記念館では正倉院展期間中「正倉院模造宝物展」を開催します。

来年の正倉院展では、本プログラムに関連する各授業での成果や発掘した地域資源を地域や観光客の皆様へ発表できるよう、準備を進めていきたいと考えています。

●●● 編集後記 ●●●

生活観光現代 GP が動き始めました。全学部での取組みへと進化し、スタッフも増えましたが、まだまだ手探りの状態です。これから地域での行事や企画、また講義の案内も随時行っていくので楽しみにして下さい。

ご意見・ご要望は現代 GP 推進室 (Email: gp-gendai@cc.nara-wu.ac.jp) までご連絡をお願い致します。

